

第 1 回「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」策定委員会の概要について

- 1 日 時 令和 2 年 1 2 月 3 日（木） 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
- 2 場 所 関西広域連合本部事務局大会議室
- 3 出席者 裏面参照
- 4 内 容 第 1 回策定委員会の主な意見

(1) 計画の骨格に関する意見

- ・ 新型コロナウイルスの影響による緊急対応と大阪・関西万博までの戦略を別けて考えるべき
- ・ 2027年の「ありたい姿」をイメージして議論してはどうか
- ・ 「ピワイチ」や「淀川の舟運」など各地域の取組をテーマ等をつなぐ、広域的な展開が必要
- ・ インバウンドだけでなく、国内観光にも目を向けた検討が必要
- ・ インバウンド向けのコンテンツを国内観光にも使えるものは多くある。国内、国外で区切るのではなく、観光全体を盛り上げる発想が必要

(2) ウィズ・アフターコロナに関する意見

- ・ 安心・安全の訴求、マイクロツーリズム、サステナブル、地域住民等への対応が必要
- ・ インバウンドは当面見込めないが、観光インフラの整備を維持することが重要
- ・ 海外の移動コストが上がり、海外旅行は高級化していくのではない
- ・ ウィズ・アフターコロナでは世界都市がライバルになる。ターゲット国への的確なマーケティング、プロモーションを行うとともに、魅力的なコンテンツ作りが重要
- ・ 空港や交通機関のアライアンスや観光客へオンタイムの情報を提供するプラットフォームの構築が必要
- ・ MICE はリアルとオンラインのハイブリット型への対応が求められる
- ・ 観光産業の収益力向上のために、DX を観光に活用することが重要

(3) 大阪・関西万博に関する意見

- ・ 万博会場だけでなく、広域周遊、長期滞在をしてもらうための仕掛けが必要
- ・ ハイエンド層に対応した観光コンテンツの開発が必要
- ・ 万博に合わせて、各地域で行われる祭事やフェスティバルを「広域博覧会」として位置付けて開催するなど、関西全体で盛り上げる仕組が必要

(4) 文化観光に関する意見

- ・ 文化的なストーリーによって各地域・施設を横串でつなぐ取組が必要
- ・ 世界遺産の活用や大学ミュージアムとの連携をもっと強化していくべき
- ・ 「関西文化の日」を発展させ、ミュージアム以外の連携を広げる取組が必要

「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」策定委員会委員名簿

氏名	役職・経歴
おがべ ジェム 岡部 ジェム	関西エアポート株式会社 航空営業部次長
かわうち 厚郎 河内 厚郎	はなやか関西・文化戦略会議委員、公益財団法人阪急文化財団理事、兵庫県立芸術文化センター参与
きたむら つよし 北村 豪	公益社団法人関西経済連合会 都市・観光・文化委員会副委員長、日本旅行業協会関西支部長、株式会社 JTB 執行役員法人事業本部 関西広域代表
きかがみ ひでひこ 坂上 英彦	関西広域連合広域計画等推進委員会委員、はなやか関西・文化戦略会議委員、嵯峨美術大学名誉教授他
とうい 芳隆 東井 芳隆	一般財団法人関西観光本部専務理事
はしづめ しんや 橋爪 紳也	KANSAI 統合型リゾート研究会座長、大阪府特別顧問、大阪市特別顧問、大阪府立大学研究推進機構特別教授、大阪府立大学観光産業戦略研究所所長、京都市観光振興審議会顧問、大阪市都市計画審議会会長他

第1回策定委員会オブザーバー

氏名	役職
ほんだ かずやす 本田 一泰	文化庁地域文化創生本部上席調査役
かくたに けいじろう 角谷 敬二郎	近畿運輸局観光部長